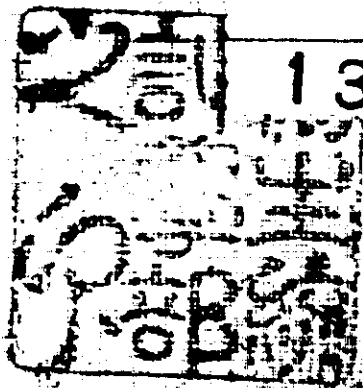


S

13



職業婦人に関する調査

東京市社会局

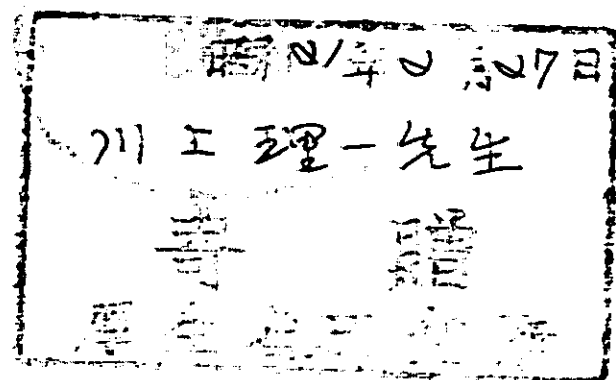
国立保健医療科学院蔵

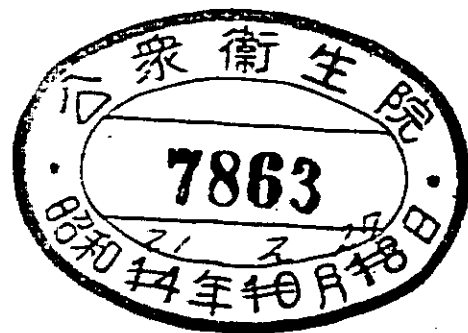
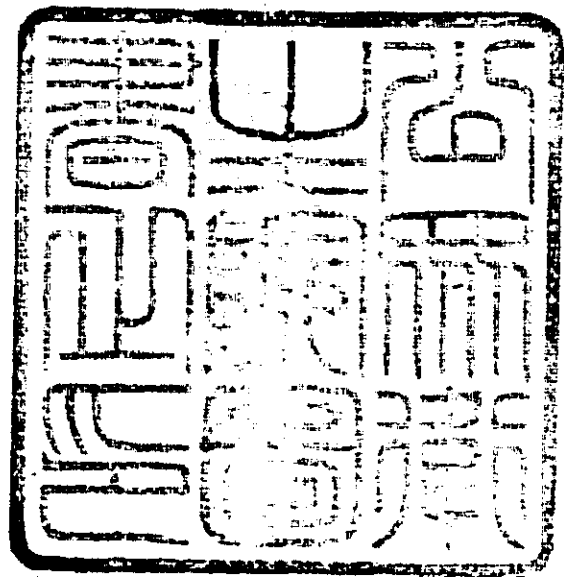


10012126

職業婦人に関する調査

東京市社会局





凡 例

- 一、本書は職業婦人に關する參考資料として調査したる「職業婦人に關する調査」を謄寫に代へて印刷に附したるものである。
 - 二、婦人職業問題の喧しく議論せらるゝ時に當り職業婦人に關する調査研究は從來一、二の事例を有するのみなるを以て、本書を以て概觀的の基礎調査となすものであるが、尙細目に亘つて盡さざる點あり、夫は後日の研究調査を俟つものである。
 - 三、此の調査に當つて幾多の材料を提供された人々の御好意を謝するものである。
- 大正十三年十二月

東京市社會局

職業婦人に關する調査目次

序

第一編 總 說

第一章 婦人職業問題

第一節 職業婦人の意義

第二節 中流階級に於ける職業婦人發生の原因

第三節 現下に於ける婦人職業狀態並に其の趨勢

第四節 婦人の天分と職業

第二章 東京市に於ける婦人職業

第一節 婦人職業の概況

第二節 婦人職業の種類及解説

第二編 職業婦人に關する統計及記述

第一章 身上に關する事項……………四

第一節 年齡及配偶關係

第二節 配偶關係と子供の有無

第三節 兩親の有無と就職理由

第四節 扶養者の有無

第五節 就職年限

第六節 前職の有無及就職の徑路

第七節 教育程度

第八節 住居の状態

第二章 生活狀態に關する事項……………五

第一節 勤務狀態

第二節 待遇狀態

第三節 收入と生計

第四節 家庭生活

第五節 閑散時の利用方法

第六節 婦人團體と婦人運動

第七節 職業婦人の感想並に希望

第三編 附 錄……………三二—三〇

第一 女工に關する調査概況

第二 派出婦に關する調査概況

第三 女子専門學校及職業學校一覽

第四 職業婦人の勤務先一覽

第五 婦人團體一覽

第六 英米に於ける職業婦人

一 職業婦人の趨勢

二 職業婦人と扶養者

三 職業婦人と小兒死亡率

四 職業婦人と所得
以上

圖表目次

一、圖 (教師、タイピスト、事務員、店員、看護婦、交換手九〇〇名に就いての調査に依る)

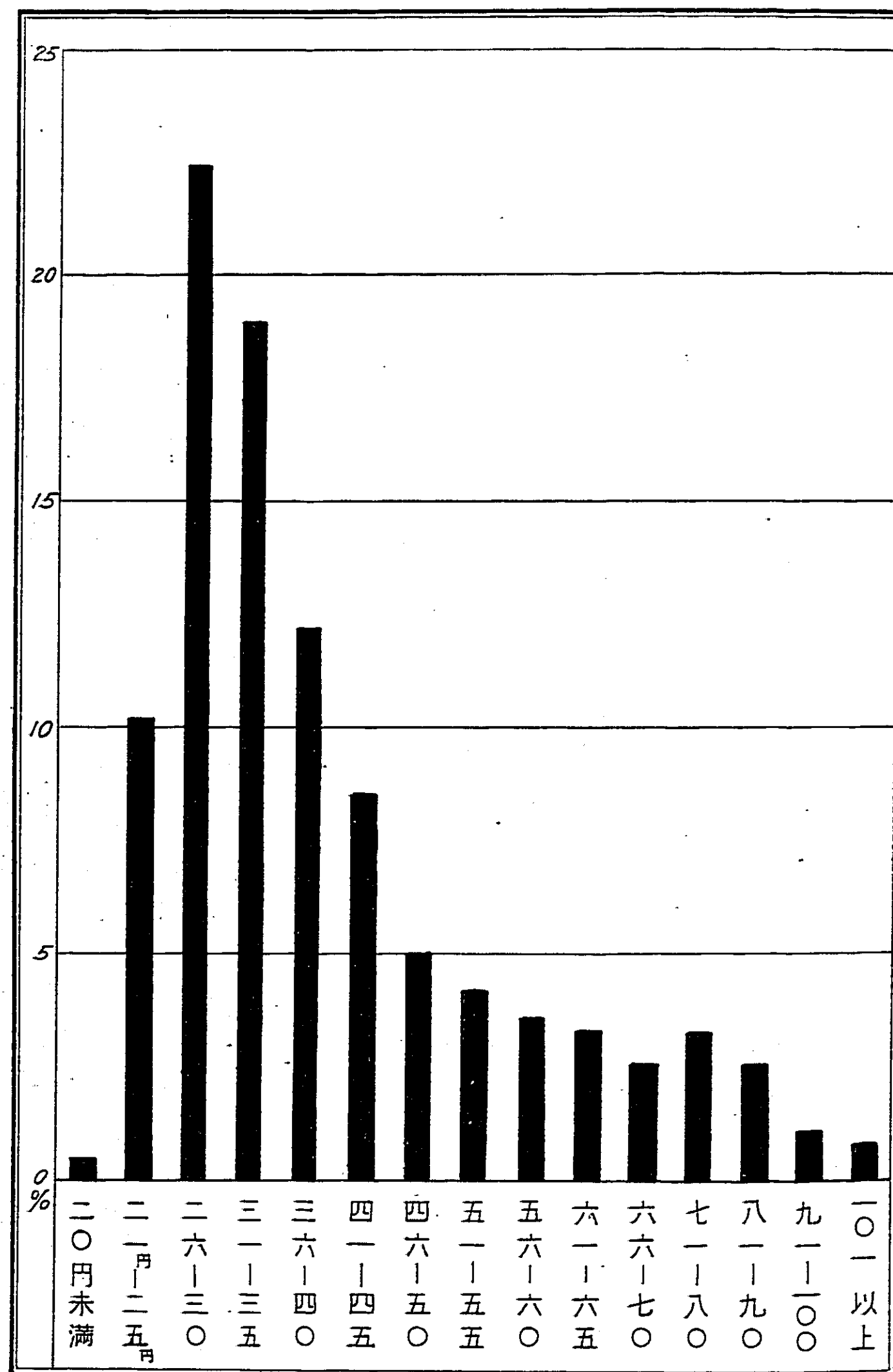
第一圖	收入階級別人員比例表
第二圖	業務別に依る收入階級別人員表
第三圖	両親の有無に依る就職理由表
第四圖	配偶別に依る生計状態比例表
第五圖	業務別に依る教育程度比例表
第六圖	獨身者と其扶養者及被扶養者との關係表 (東京市勢統計原表に依る)
第七圖	職業分類に依る男女有業者比較表
第八圖	年齢別に依る婦人本業者に關する割合表
第九圖	職業上の地位に依る各區別婦人有業者人員比例表
第十圖	職業上の地位に依る婦人本業者の年齢階級別人員比例表
第一表	業務別に依る配偶關係
第二表	年齢階級と配偶關係
第三表	配偶別に依る子供の有無

- 第四表 業務別に依る子供の有無
- 第五表 年齢階級に依る子供の有無
- 第六表 配偶別と子供数との關係
- 第七表 業務別に依る兩親の有無
- 第八表 配偶別に依る兩親の有無
- 第九表 年齢階級と兩親の有無
- 第十表 兩親の有無と就職理由
- 第十一表 業務別と就職理由
- 第十二表 境遇上より見たる扶養者の有無
- 第十三表 業務別より見たる扶養者の有無
- 第十四表 境遇と扶養者との關係
- 第十五表 扶養者の年齢
- 第十六表 年齢と就職年限との關係
- 第十七表 配偶別に依る就職年限
- 第十八表 業務別に依る就職年限
- 第十九表 業務別に依る前職の有無
- 第二十表 業務別に依る就職の徑路
- 第二十一表 業務別に依る教育程度

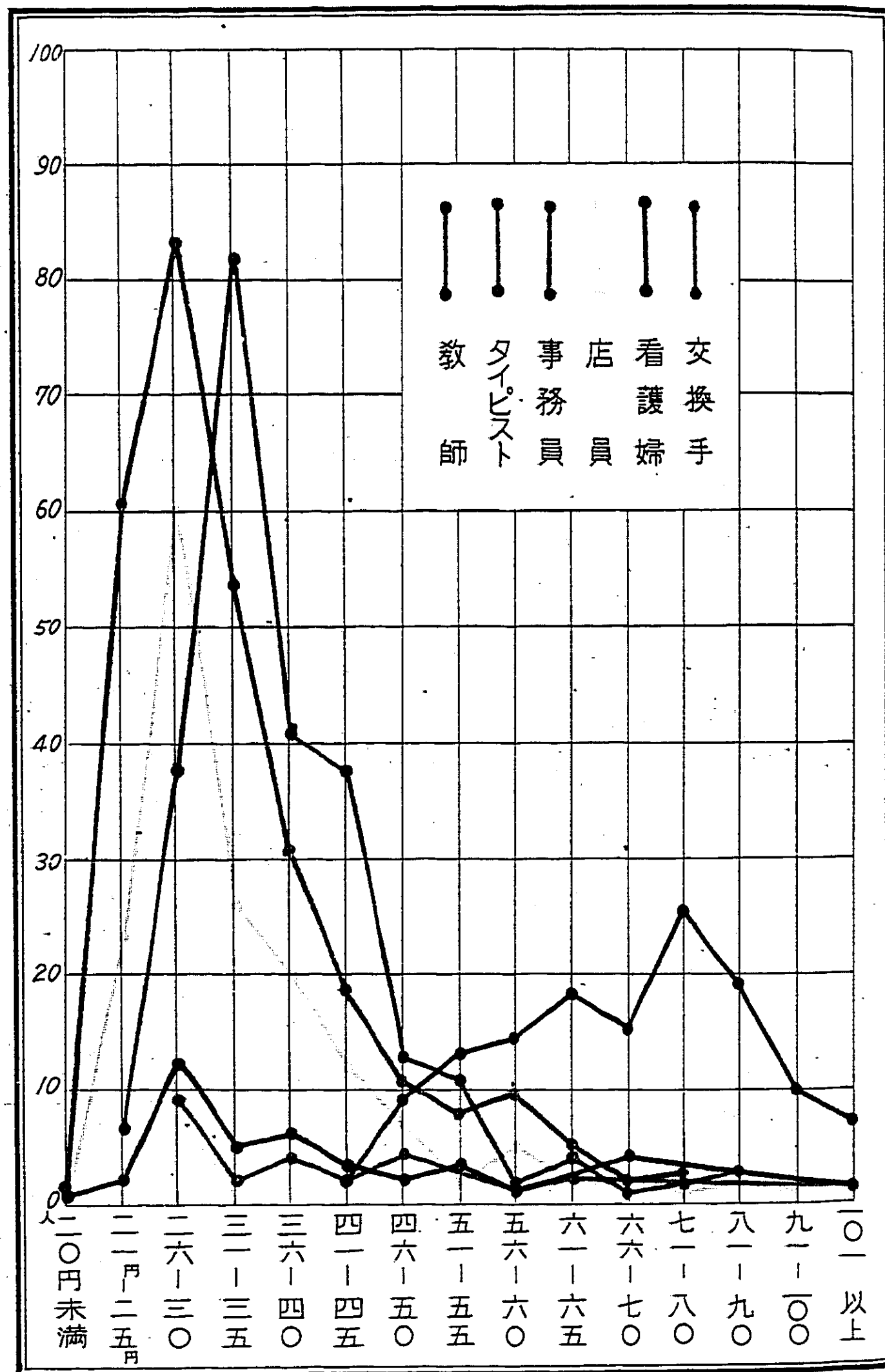
- 第二十二表 業務別と住居
- 第二十三表 兩親の有無と住居
- 第二十四表 年齢階級と住居
- 第二十五表 配偶と住居
- 第二十六表 業務別と收入との關係
- 第二十七表 業務別に依る俸給
- 第二十八表 教育程度と收入との關係
- 第二十九表 就職年数と收入との關係
- 第三十表 收入と生計狀態
- 第三十一表 配偶關係と生計狀態
- 第三十二表 業務別と生計狀態
- 第三十三表 業務別に依る讀物讀覽狀態
- 第三十四表 團體所屬の有無

以上

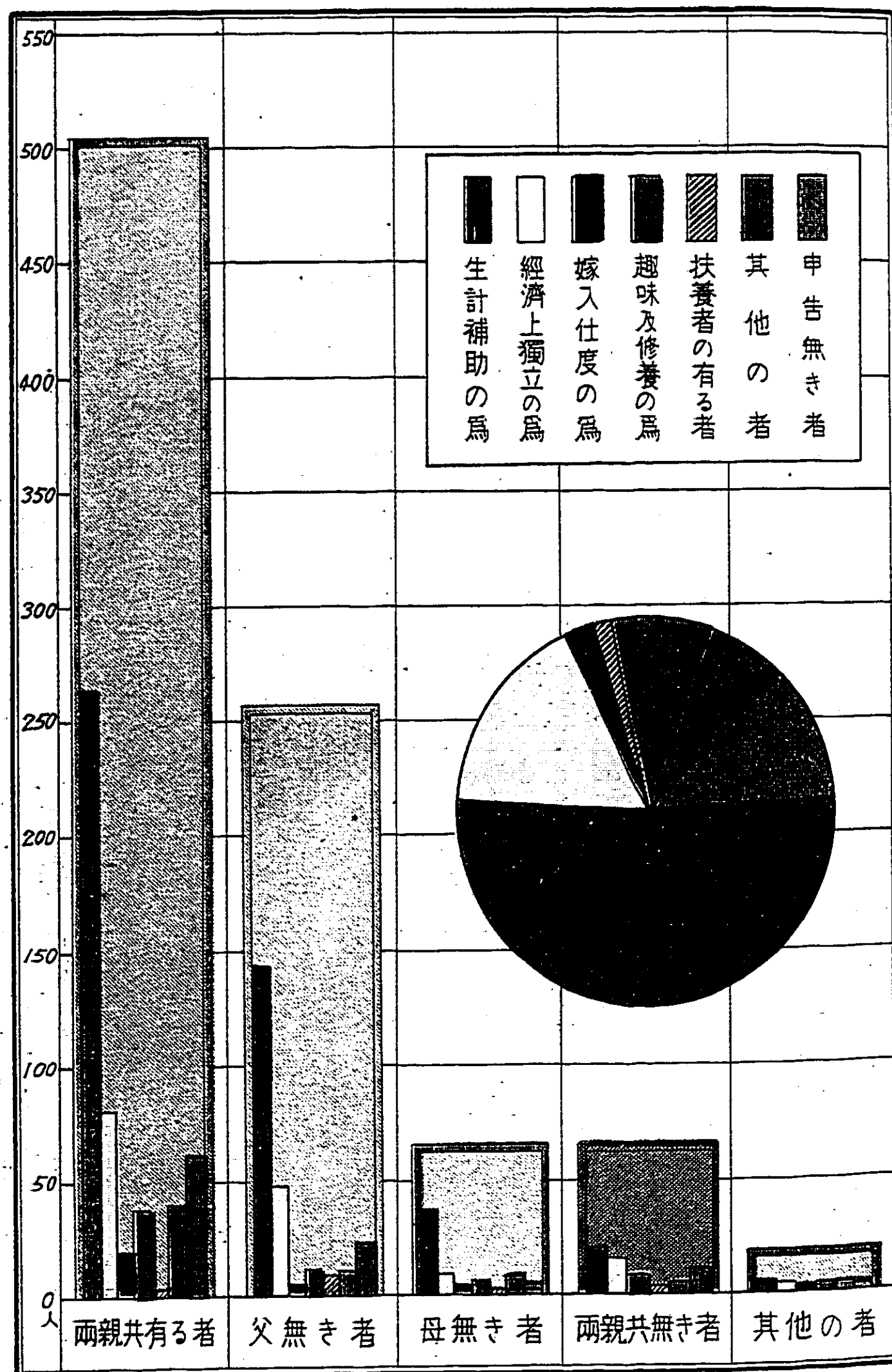
收入階級別人員比例表



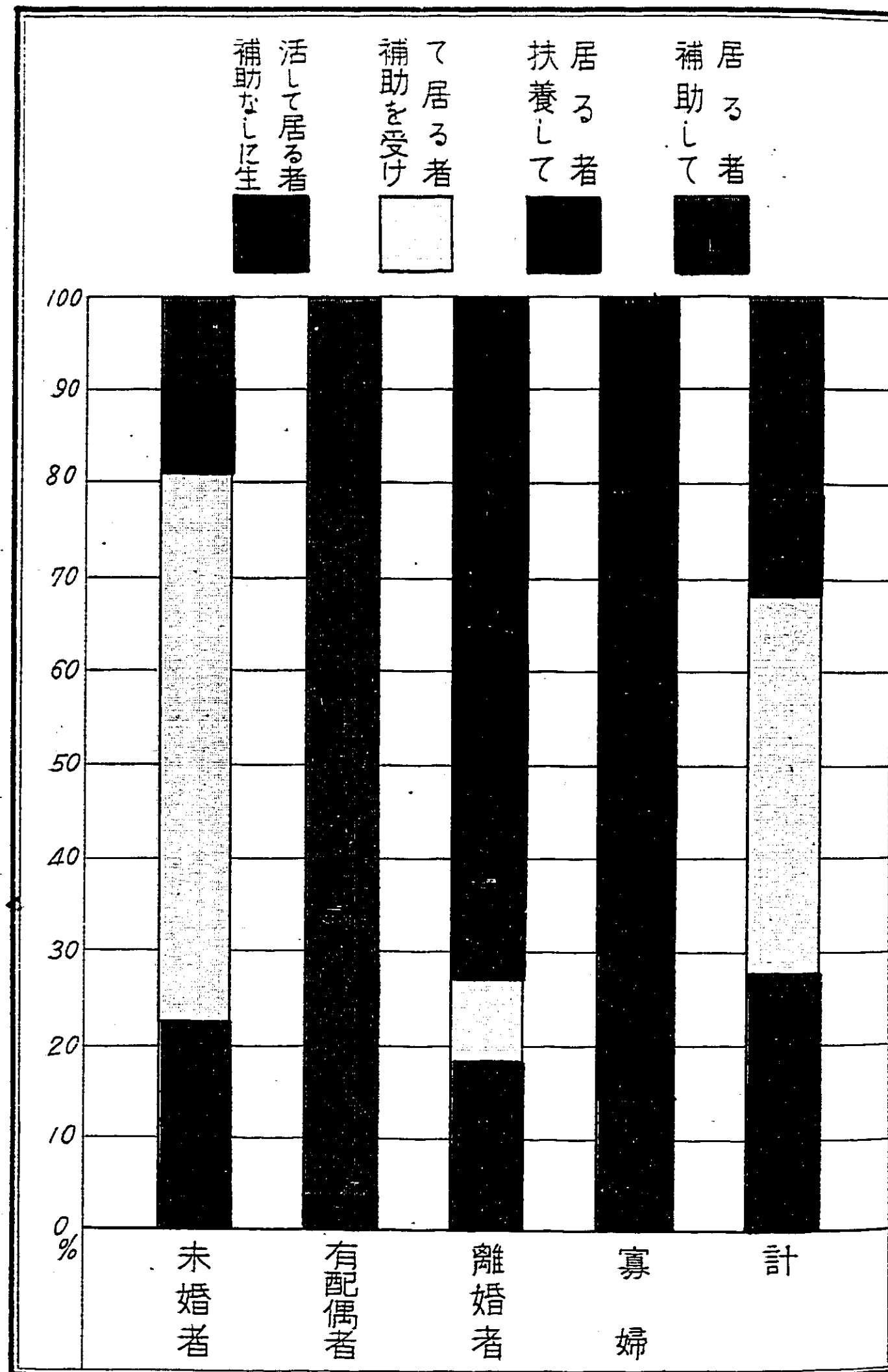
業務別に依る収入階級別人員表



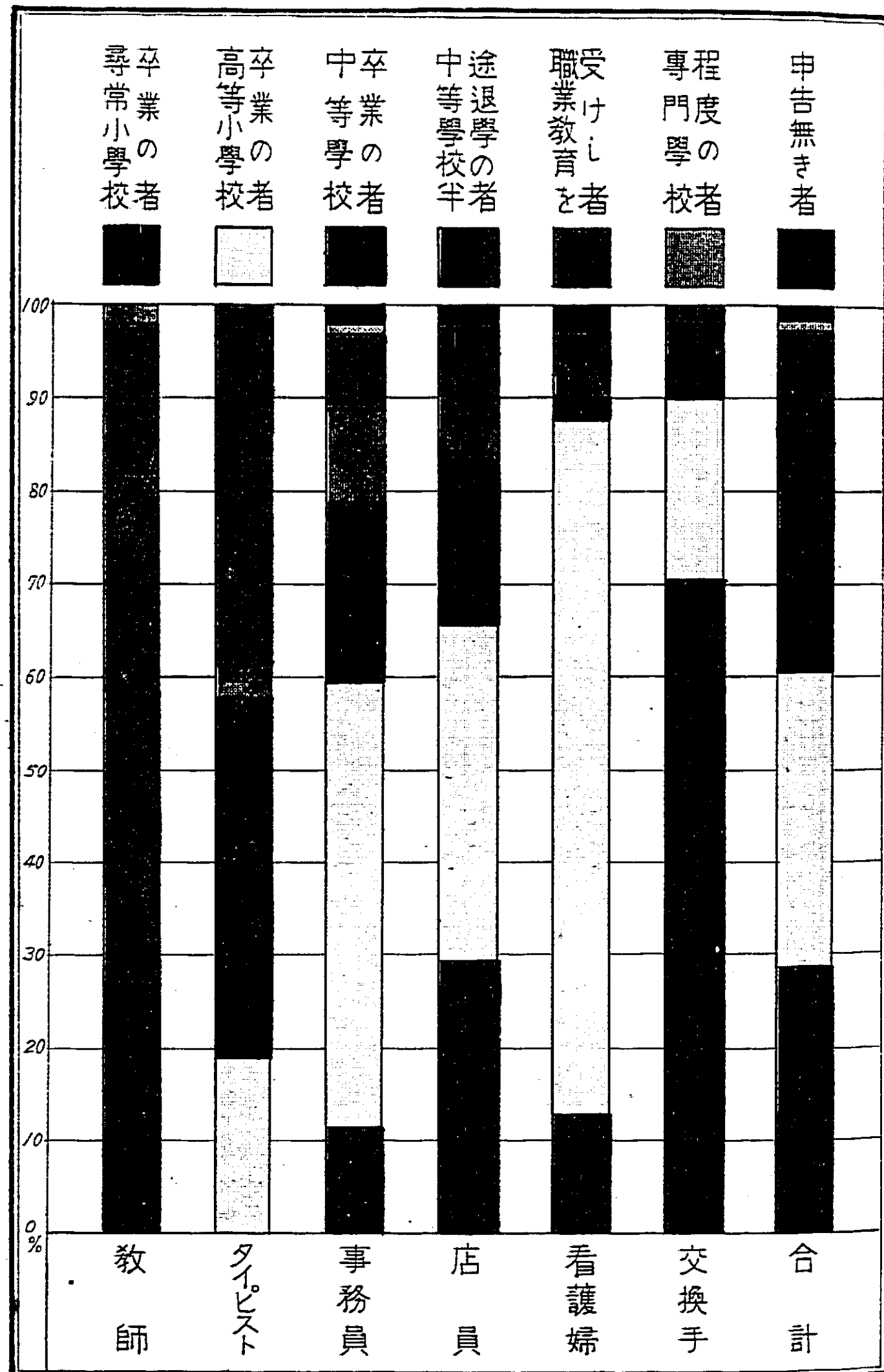
両親の有無に依る就職理由表



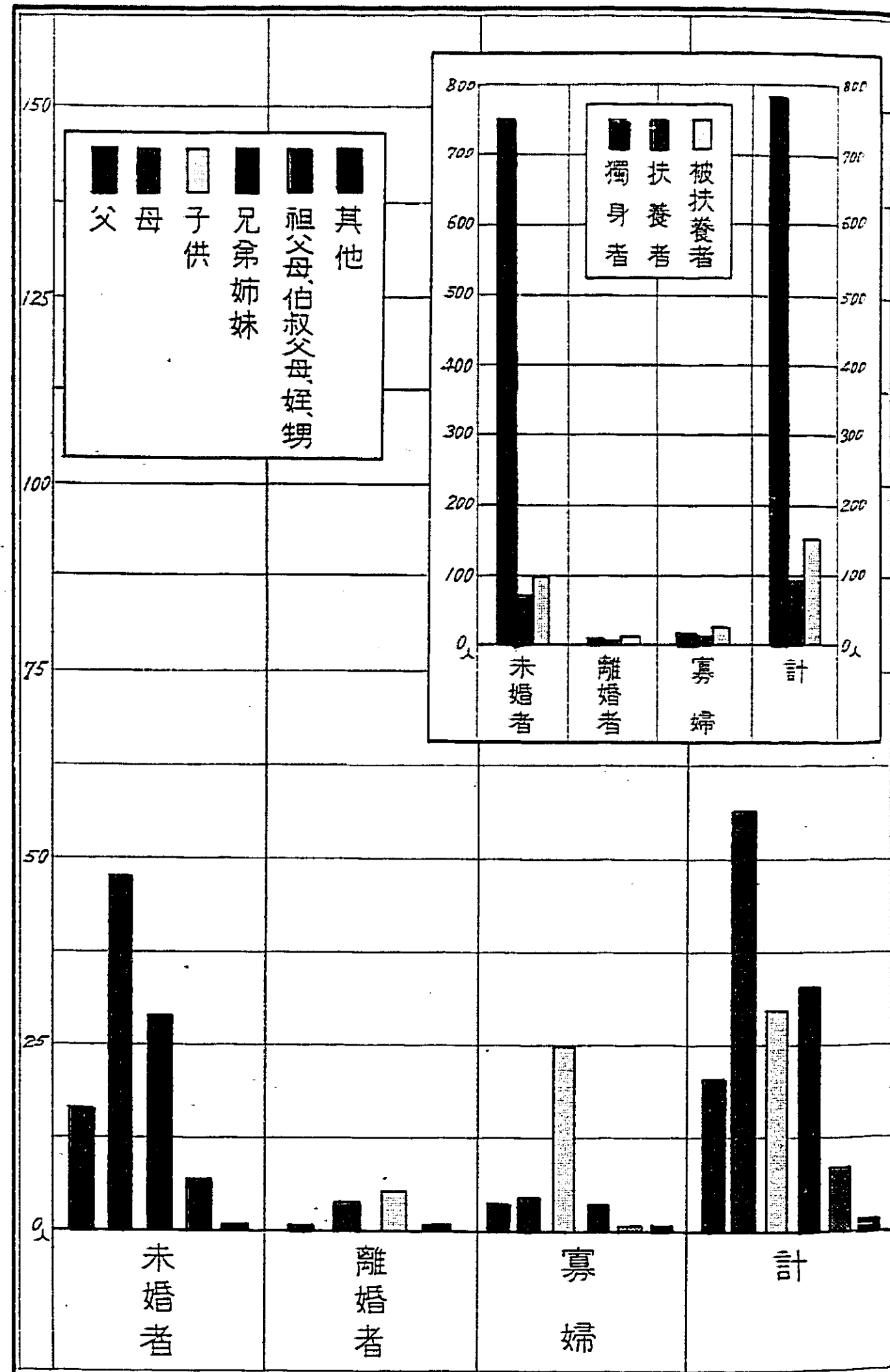
配偶別に依る生計状態比例表



業務別に依る教育程度比例表

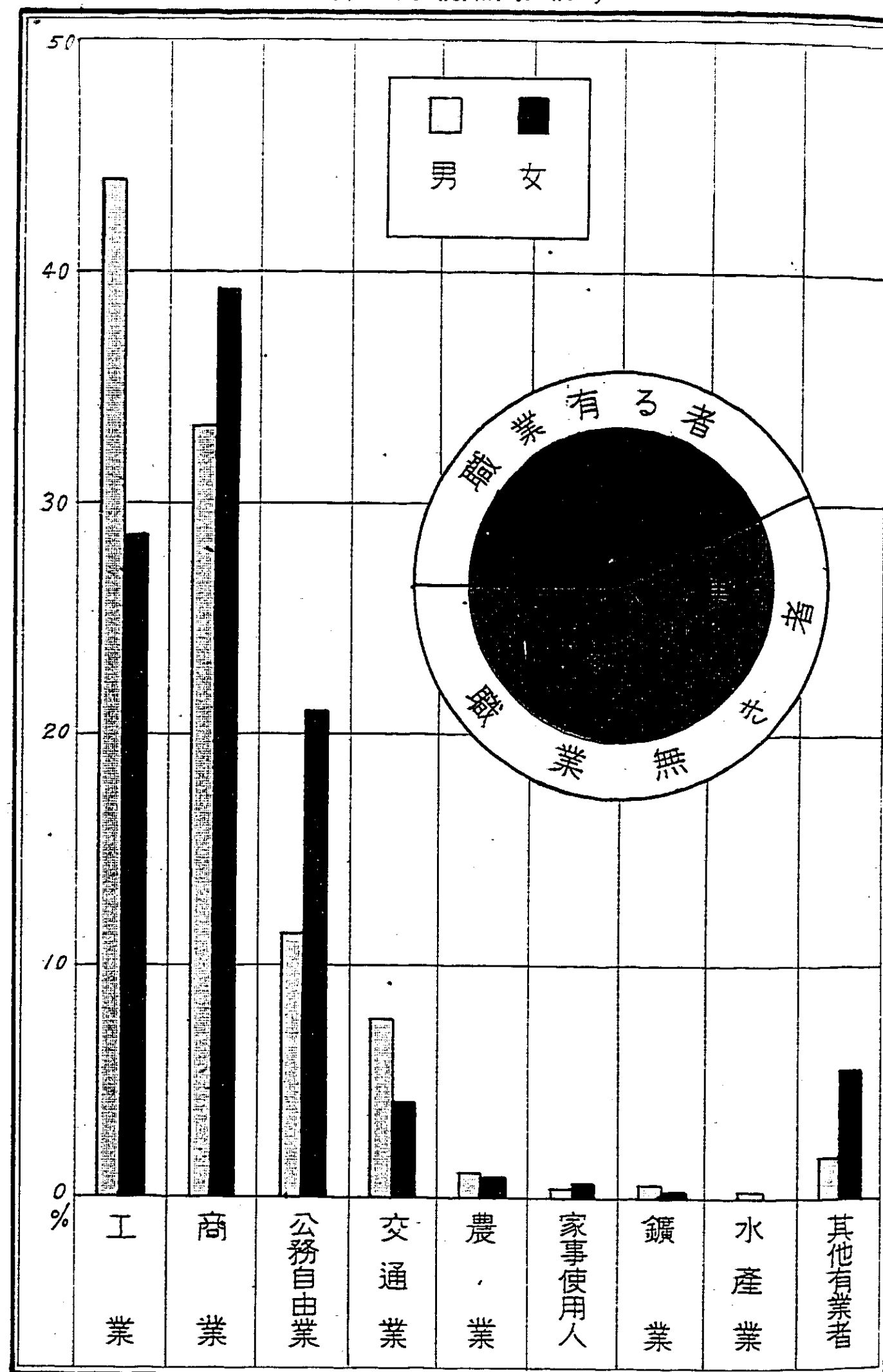


獨身者と其扶養者及被扶養者との關係表



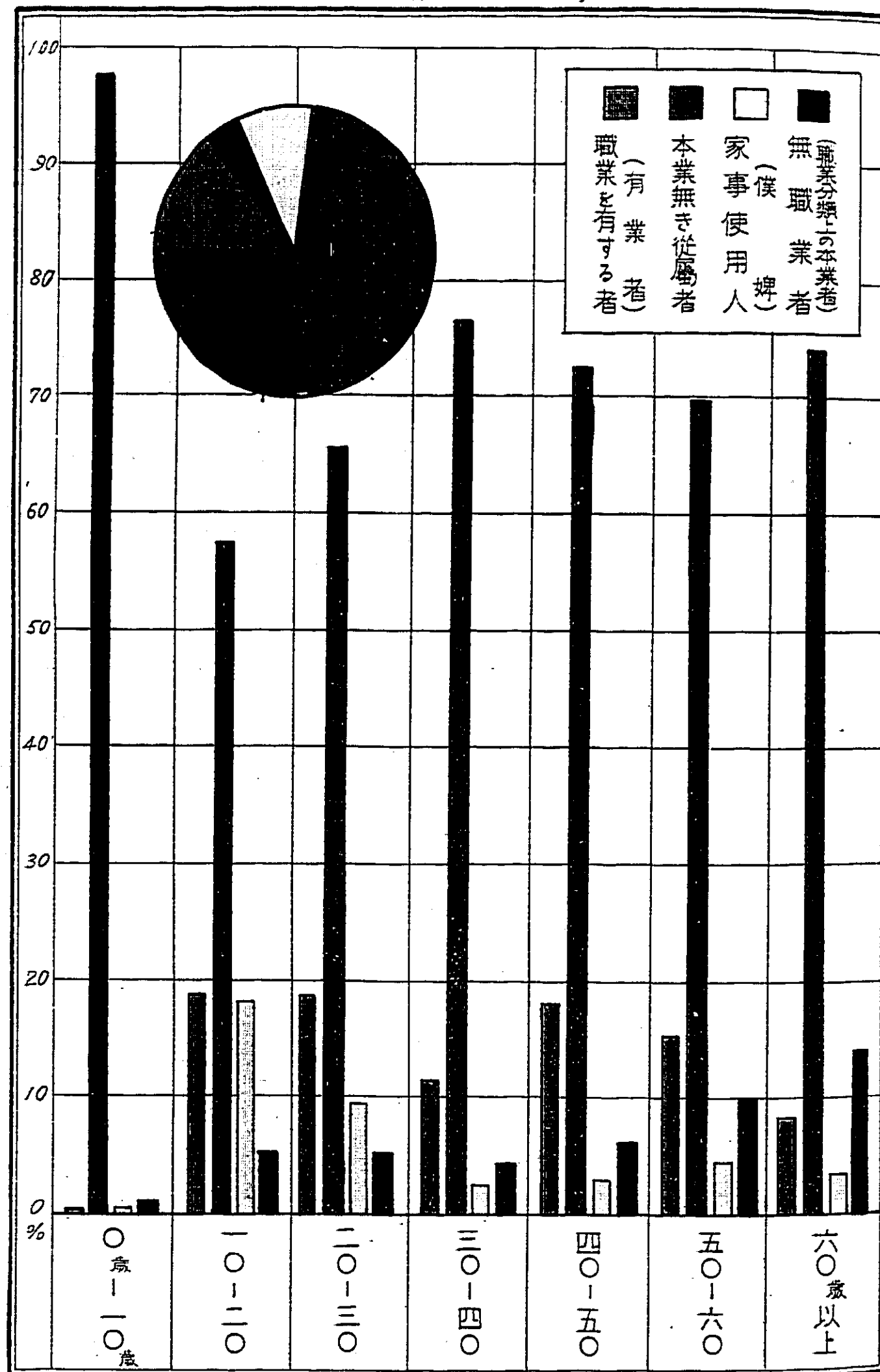
職業分類に依る男女有業者比較表

(東京市市勢統計原表に依る)



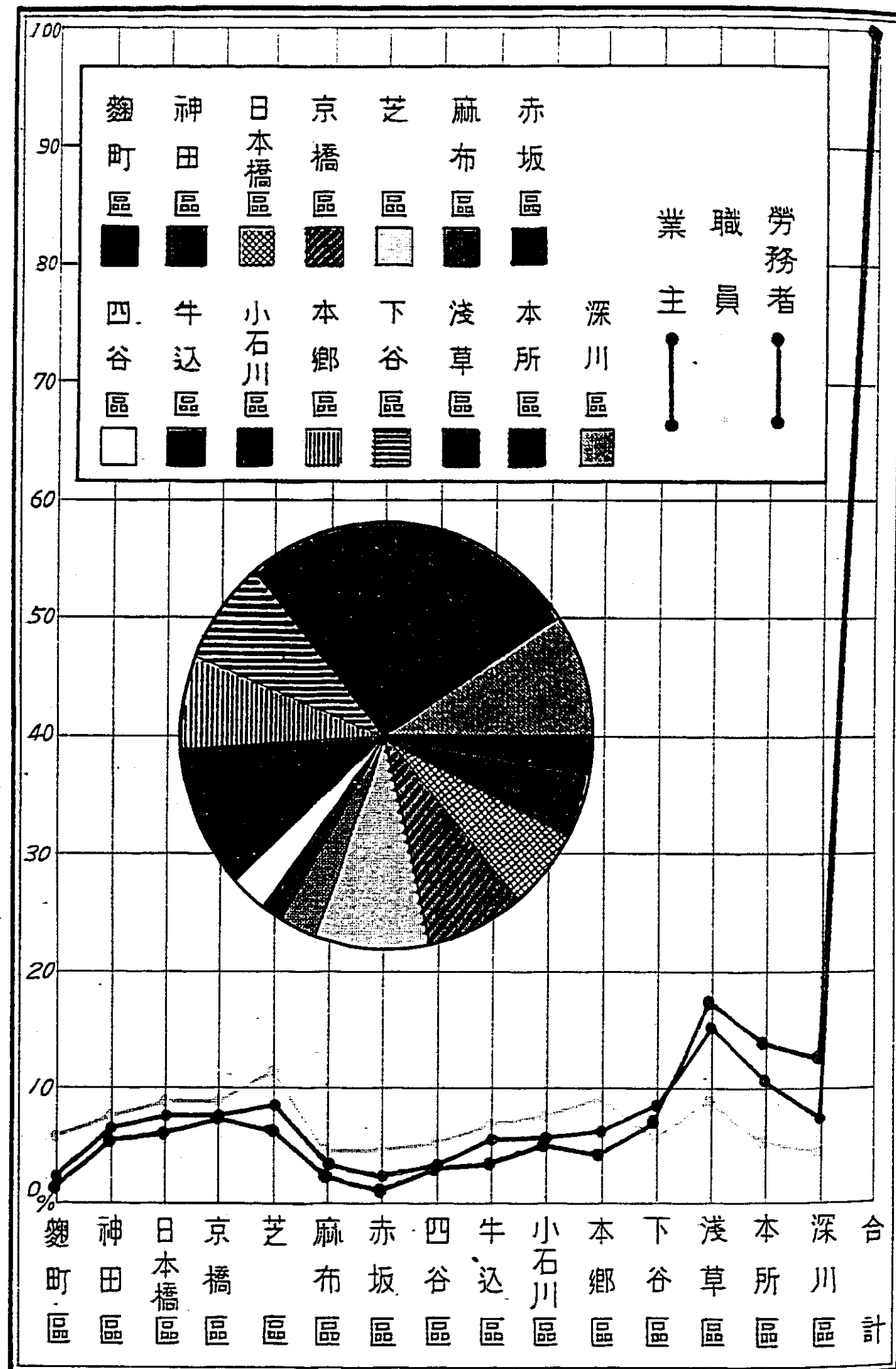
年齢別に依る婦人本業者に関する割合表

(東京市市勢統計原表に依る)

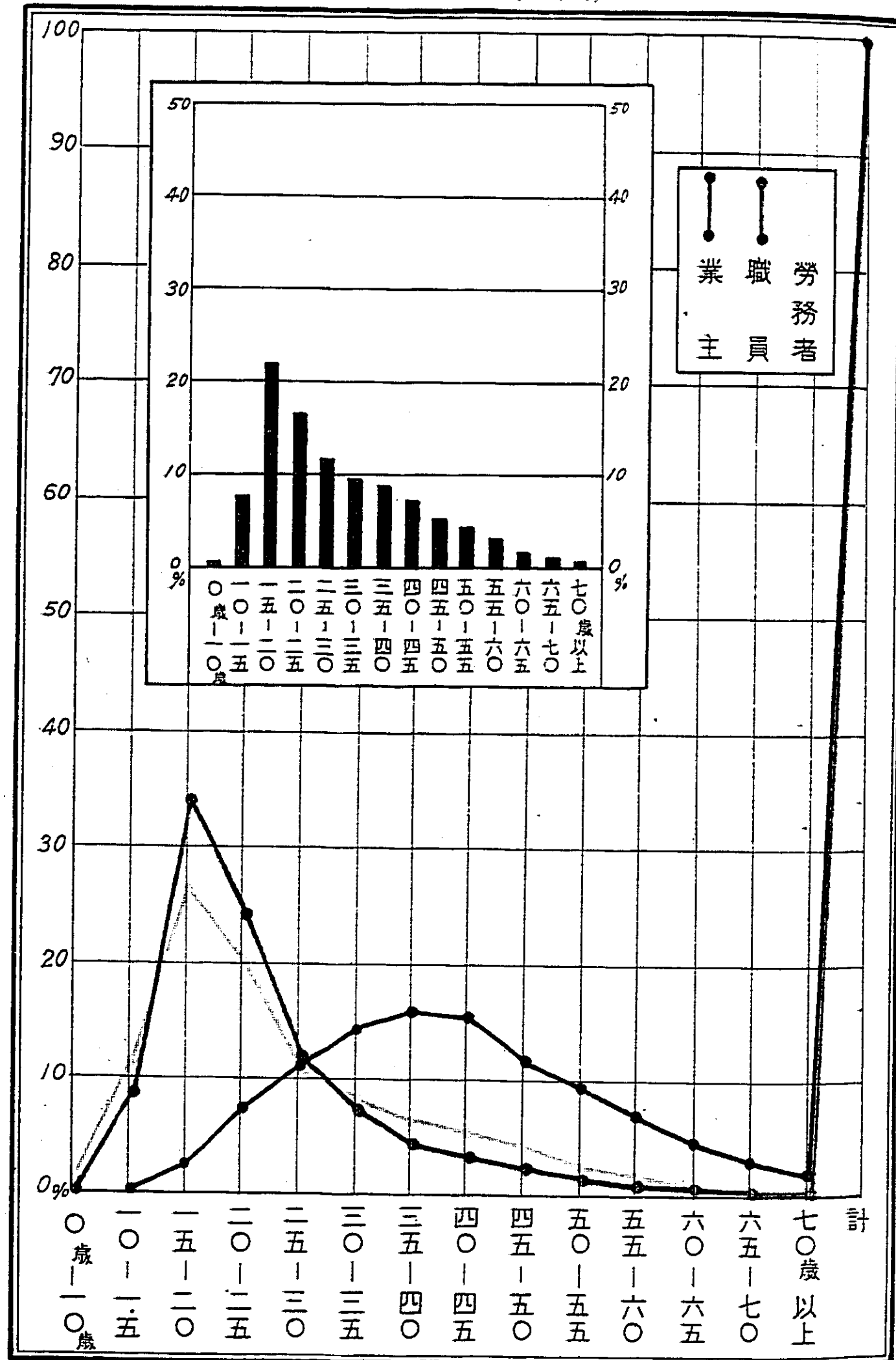


職業上の地位に依る各區別婦人有業者人員比例表

(東京市市勢統計原表に依る)



職業上の地位に依る婦人本業者の年齢階級別人員比例表
(東京市市勢統計原表に依る)



職業婦人に關する調査

序言

一、調査目的

本調査は近來婦人の職業を求むる者が續出したので之が指導及び獎勵方法を研究し以て改善に資せむが爲めに之をなしたのである。

二、調査方法

材料蒐集——に就ては直接調査と間接調査の二方法を以てし、前者に於ては主に配票調査に依り、後者に於ては調査主任の直接體驗から得た知識其の他種々の間接材料を以てしたのである。

調査期間——直接調査は大正十一年、十一、十二月の二ヶ月間に亘つて之をなし、間接調査の材料蒐集は隨時に之をなしたのである。

調査範圍——は東京市内に限り且つ職業婦人中、教師、タイピスト、事務員、店員、看護婦、交換手に就いて材料を得たものである。

二、直接調査項目

第一號

- 一、身上に關する事項
- 二、生計狀態
- 三、生活狀態
- 四、職業に對する感想並に希望事項
- 五、職業婦人の社會的施設に關する希望事項

第二號

- 一、業務の種類及び勤務時間
- 二、人員及び住居區域
- 三、待遇
- 四、婦人従業員に對する福利増進施設
- 五、採用方法
- 六、婦人従業員の長所短所及希望條件

第三號

一、卒業生數

二、就職者數

三、上級の學校へ進みたる者の數

四、結婚したる者の數

五、其の他

右項目を三種類の調査票に記入し、第一號調査票は、三越、白木屋、伊藤松坂屋、日本銀行、逓信省爲替貯金局、鐵道省、中央電話交換局、小學校、病院等に勤務する職業婦人二千名へ、第二號は職業婦人の勤務先約五百箇所へ、第三號は卒業生歸趨狀態調査のため、都下の女學校二百校へ配布して回答を求め、九百名の職業婦人と三百箇所の勤務先と百七十校から統計的材料を得ることが出来たのである。

四、整理統計

直接調査の材料蒐集及統計は、大正十二年六月迄に終り夫れから後八月迄に間接材料の整理解説をなし、直接材料の足らざる處を補足しつゝあつた時、偶々震災に遇ひ、然かも翌年四月迄衣類配給事務の爲め一頓挫を來したが、再び五月から震災後の狀況を調査補足して八月に完了したのである。

附録の英米に於ける職業婦人調査は、當局の増田囑託が大正十二年に翻譯したものである。

第一編 總 說



第一章 婦人職業問題

第一節 職業婦人の意義

現今の所謂職業婦人とは、一般に或る種の職業に携はる婦人の總稱であつて、これを男子の職業に比較して、其の間何等の差別を見出さない、従つて別に職業の種類に依つて分類されたのではないが、男女間に於ける特性の相違が自然に分類の端緒となり、或は又幾多の経験によつて男子よりも職業の性質上比較的優秀の地位を占め得られる方面に發達して行くのは當然である。要するに職業婦人とは婦人が其の天分に適應した生産的行爲に継続的に與かる意義に外ならない。

第二節 中流階級に於ける職業婦人發生の原因

元來職業婦人は、極く最近までは生活の脅威を逃がれんが爲めに就職を餘儀なくせられた下層階級の人々のみであつたが、近來中流階級から此等の人々の續出したのは、云ふ迄もなく主として生活難が中流階級を襲ふた爲めであるが其れは寧ろ産業革命の影響と之に伴ふ婦人の自覺（婦人開放運動）が與つて力あると云はねばならぬ、従つて中流婦人に及ぼした影響としては第一に結婚機會の減少と結婚其のものが直ちに、生活の保障たる性質を失ふに至つた事とを擧げなければならぬのみならず生活程度の向上に依り、次第に晩婚の風が助長されて隨つて男子よりも一般に低